

第7回 再処理・リサイクル部会セミナー プログラム

テーマ ガラス固化技術の現状と今後

主催 日本原子力学会 再処理・リサイクル部会

協賛 日本原子力学会 バックエンド部会

開催主旨 日本原燃(株)六ヶ所再処理工場はアクティブ試験最終段階で、ガラス溶融炉の技術的課題に遭遇して遅延している。この課題に直面して、我が国のこれまでのガラス固化に関する知見の蓄積が進むとともに、模擬溶融炉などを駆使した試験により今後の安定な運転に向けての方策が明らかとなってきた。そこで、原子力関係者や国民に関心の高いガラス固化技術について、再処理・リサイクル部会セミナーを開催し、これまでの経緯や技術開発の状況をそれぞれの専門家から報告するとともに、幅広く関係者間で議論を行い今後の技術発展に寄与することとしたい。

日時 平成23年1月19日(水) 9:30～17:50

場所 東京大学武田先端知ビル

※地図、交通アクセスにつきましては、次のアドレスにてご確認ください。

地図：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_13_03_j.html

交通アクセス：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

(地下鉄千代田線 根津駅が一番近くの駅になります。)

【プログラム】

1. 開会挨拶 田中 知 部会長 9:30～ 9:40
2. 基調講演 我が国の核燃料サイクルと六ヶ所再処理工場の位置づけ 9:40～10:10
(経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部
原子力立地・核燃料サイクル産業課長 森本 英雄)
3. テーマ1 10:10～11:10
講演① 六ヶ所再処理工場ガラス固化設備と試験状況 (30分)
(日本原燃(株) 再処理事業部 再処理工場 運転部部長 濱田 隆)
講演② 東海再処理工場 TVF の技術開発と運転実績 (30分)
(独) 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所
再処理技術開発センター副センター長 槇 彰)
4. 特別講演 ガラスとは ―高レベル廃液固化技術との関連から― 11:10～12:00
(京都大学 名誉教授 作花 済夫)

12:00 ～ 12:45 ～昼食～

5. ポスターセッション 12:45～13:30
6. テーマ2：ガラス固化技術の現状 13:30～15:00
- ① 六ヶ所ガラス溶融炉のトラブル経験と克服
- ・ガラス溶融炉のトラブル実績と対策 (20 分)
(日本原燃㈱ 再処理事業部 再処理工場 技術部 技術課副長 石原 紀之)
 - ・アクティブ試験に向けての模擬試験 (KMOC) の状況と実機への反映 (30 分)
(日本原燃㈱ 再処理事業部 再処理工場 運転部
ガラス固化課課長 福井 寿樹)
- ② 海外のガラス固化技術 (30 分)
(財) 電力中央研究所 原子力技術研究所
次世代サイクル領域上席研究員 塚田 毅志)
- テーマ2の質疑応答 (10 分)
- 休憩 15:00～15:15
7. テーマ3：ガラス固化技術の改良・高度化に向けて 15:15～16:25
- ① ガラス固化技術高度化研究の状況 (30 分)
(日本原燃㈱ 再処理事業部 再処理計画部
設計開発グループ副長 守屋 登康)
- ② 次期溶融炉の設計概念 (30 分)
(㈱ I H I 原子力セクター 原燃システム部
第一システム設計グループ 担当部長 大野 勇)
- テーマ3の質疑応答 (10 分)
8. テーマ4：安全、地層処分 16:25～17:35
- ① 再処理施設の安全確保の考え方 (30 分)
((独)原子力安全基盤機構 廃棄物燃料輸送安全部 審議役 上田 吉徳)
- ② 地層処分からみたガラス固化の要件 (30 分)
(原子力発電環境整備機構 技術部長 土 宏之)
- テーマ4の質疑応答 (10 分)
9. ポスター賞表彰 17:35～17:45
10. 閉会挨拶 井上 正 副部会長 17:45～17:50

○参加費等【参加費は当日会場受付にて徴収させていただきます。】

参加費 会員 1 万円、非会員 1 万 5 千円、シニア 5 千円、学生無料
参加申込み先 (財) 電力中央研究所 企画グループ 西村 友宏
tomonisi@criepi.denken.or.jp
FAX : 0 3 - 3 2 8 7 - 2 8 4 1
参加登録締切り 平成 2 2 年 1 2 月 2 2 日 (水)
(所属、氏名、会員／非会員／シニア／学生、メールアドレス)

○ポスター

ポスターサイズ A 0 サイズ (横 9 0 c m × 縦 1 8 0 c m) ・ ・ ・ 当日持込
ポスター予稿 (当日参加者配布用 A 4 資料)
下記「予稿 (講演及びポスター)」参照
ポスター申し込み先 (独) 日本原子力研究開発機構 次世代原子力システム研究開発部
門 再処理技術開発ユニット 小泉 務
koizumi.tsutomu@jaea.go.jp
ポスター発表申込締切り 平成 2 2 年 1 2 月 2 2 日 (水)
(題目、ポスター対象分野、所属、代表者氏名、メールアドレス)
ポスター発表の表彰 優秀な発表数件に対して、部会からの表彰を行ないます。
ポスター対象分野：以下の原子力関係 1 0 項目に該当するもの
1. 人材育成／各大学の原子力教育取り組み
2. 長期戦略／国際展開
3. 住民、地元との対話活動／リスクコミュニケーション
4. 部会、連絡会の活動状況
5. 民間基準、学会基準作成の取り組み
6. 地層処分、陸地保管研究
7. 分離変換研究、サイクル研究 (ガラス固化技術研究含む)
8. その他、バックエンドに関する研究
9. ホット施設の運転・保守・補修技術
1 0. 学生の研究発表

○予稿 (講演及びポスター)

講演予稿 A 4 サイズ (題目、発表者、所属、内容、MS-WORD File)
ポスター予稿 (当日参加者配布用 A 4 資料)
A 4 サイズ 1 ～ 2 枚 (題目、発表者、所属、ポスター内容、MS-WORD File ; 白黒印刷です。)
予稿送付先 日本原燃㈱ 東京事務所 山澤 正俊
masatoshi.yamazawa@jnfl.co.jp
予稿原稿締切り 平成 2 3 年 1 月 5 日 (水)

以 上